

4月の野菜の見通し

平成31年3月29日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,494	少ない	11,264	83	102%	96	0	0.0%	メインは千葉産となる。各地、暖冬の影響で平年より前進出荷となっており、神奈川県産は4月上旬には出回りがなくなることも予想される。千葉・茨城産は作柄良好で、全体量に不足なく前年同様の緩慢とした荷動きが予想される。見通し単価は85円で安かった前年並み、平年比ではやや安。
はくさい	6,630	並	6,135	46	98%	93	-	-	茨城産中心で生育面ではいくらか内部障害の懸念はあるものの、概ね作柄良好。数量潤沢かつ、業務・加工需要は歩留まりが良いため荷動きは鈍い予想。見通し単価は45円で安かった前年並みだが、平年比では5割安。
キャベツ	18,977	多い	18,762	90	78%	109	-	-	神奈川・愛知・千葉産中心の出回り。各地作柄順調なため数量は多い見通し。荷動きはあるだろうが、物量の多さから相場は上がりず軟調のまま推移か。見通し単価は70円で前年・平年より大幅に安い。
ほうれん そう	1,091	並	1,171	488	96%	522	0	0.0%	茨城・群馬・埼玉産等の出回り。価格がこなれたことで3月下旬から4月上旬まで引合いは強まる見通し。中旬以降は需要も落ち着き、夏秋物が増量となる中で相場は下げ目となる予想。見通し単価は470円で前年比若干安、平年比でもやや安い。
ねぎ	3,387	並	3,707	290	93%	316	3	0.1%	千葉・埼玉・茨城産の出回り。各地生育順調で太め中心となる。下等級比率が高く、軟調な販売が予想される。下旬には春物の減少と夏物のスタートで相場は持ち直す見込み。見通し単価は270円で前年比若干安、平年比でもやや安い。
きゅうり	7,446	並	7,136	217	101%	281	8	0	3月上中旬は天候不順により関東産を中心に出荷量は前年割れとなったが、今後は増量となる見通し。5月連休に向け、4月後半は値段を下げての販売となろう。見通し単価は220円で安かった前年並み、平年比では大きく安い。
トマト	7,464	並	7,595	333	99%	377	-	-	熊本・栃木・愛知産を中心とした出回り。3月は全体量少なめで推移したが、4月は遅れていた分が出て増量となる見通し。春商材のため量販店の売り場も広がり、荷動きも出てこようが、下旬にはさらなる増量と5月連休を控えて相場は下げとなるだろう。見通し単価は330円で前年並み、平年比でやや安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の入荷量と価格見通し」(関東農政局)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)